

議決

小学校給食センターの工事の遅れによる竣工期限の変更（平成25年3月15日から4月30日に変更）、給食配送車両9台の購入など、6件の議決議案を可決しました。

給食配送車両の購入について審査を行った経済文教委員会では、配送車両が従来より大型になることから、各学校の受け入れ体制について確認し、市側からは「各校の配膳室の改修はほぼ終えており、残る三浦・萱瀬小学校の配膳室改修及び各学校の搬入路の整備については、平成25年度に実施する」との答弁がありました。



小学校給食センター工事の現地調査を行う委員会

請願

「国道34号の整備についての請願」が提出されました。

この請願は、国道34号の与崎から鈴田峠（2.6Km）までの区間の4車線化拡幅整備について新規事業化を早急に行うよう、国・長崎県へ要望してほしいというものです。

審査を行った建設環境委員会では、紹介議員に趣旨説明、市側に現状と今後の計画について報告を求めました。

採決の結果、委員会、本会議とも採択となりました。

陳情

「中地区公民館の建て替えに関する陳情」、「地震等の有事」から児童を守る「福重小学校新校舎の建設」に関する陳情、「年金2.5%の削減中止を求める陳情」の3件の陳情が提出され、それぞれ所管の常任委員会で検討を行いました。

意見書

国による地方公務員の給与削減措置を講ずる要請に対する意見書

地方公務員の給与は地方が自主的に決定すべきものであり、国が地方公務員の給与削減を強制することは、地方分権の流れに逆行するものであるため、地方との十分な協議を経ないまま、今回国が行った地方公務員給与に係る地方交付税の一方的な削減措置を撤回するよう政府に対し意見書を提出しました。

国道34号の早期整備に関する意見書

市民の切なる願いである国道34号の交通渋滞の解消と安全対策の重要性を鑑み、大村拡幅事業（4車線化）の残る、空港南口交差点から水主町交差点までの480m区間の早期完成と、併せて与崎交差点から本野（諫早市）までの区間の早急な新規事業化を行うよう国・長崎県に対し意見書を提出しました。

2月臨時会

平成25年2月13日、臨時会が開催され、（仮称）本町アパート・市民交流プラザ建設工事における工事請負契約の締結について審査を行いました。

この工事の入札においては、市が国の通達に反し、意図的に工事価格を引き下げる「歩（ぶ）切り」を行っていたことが発覚し、審査においては、「入札手続きに不備があり、適正な入札とは言えない」との議案に反対する意見や、「歩切りは行われたが、予定価格漏えいなど不適切な入札が行われた事実はなく、適正に業者を決定している」との議案に賛成する意見など、多くの議員よりさまざまな意見が出されましたが、採決の結果、委員会、本会議とも賛成多数で可決されました。

また、7名の議員より、今後は国の通達を遵守すること、入札制度のあり方を抜本的に見直すことを求める「入札制度の見直しを求める決議」が提出され、賛成多数で可決されました。